

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 令和6年度採択テーマ 中間評価結果

テーマおよび概要		研究代表者名	評価コメント
テーマ	既往災害データならびに水文データの解析に基づく六甲山の土砂災害将来予測	国立大学法人京都大学大学院農学研究科森林科学専攻 教授 小杉賢一朗	本研究は計画通りに順調に進捗している。六甲山系全域や他地域への普遍的な活用に向け引き続き研究を進められたい。
概要	昭和42年7月豪雨により土砂災害が発生し甚大な被害をもたらした六甲山では、その後、これを超える規模の「豪雨による土砂災害」は発生していない。しかしながら、気候変動に伴う降雨特性の変化により、今後、土砂災害が頻発化・激甚化する可能性が考えられる。本研究では、六甲山における降雨パターンと土砂移動パターンの対応に関する解析、ならびに六甲山における近年および将来の降雨パターンの特徴の解析に基づき、今後の土砂動態・土砂災害の傾向を検討する。		
テーマ	火山地域における効果的な除石計画策定手法の開発	国立大学法人九州大学大学院農学研究院環境農学部門 准教授 水野秀明	本研究は概ね順調に進捗している。除石計画に関する課題と提案に向けた具体的な道筋を示すことを念頭に、引き続き研究を進められたい。
概要	活発な火山活動のある地域では、従来の土石流・流木処理計画だけでなく、砂防設備の機能を維持するために必要な除石計画を策定することが求められる。しかしながら、「土石流・流木対策設計技術指針解説」を始めとする技術基準類では、砂防設備の機能を維持する手法が具体的に記述されていない。そこで、本研究課題では、鹿児島県鹿児島市内の桜島をモデルとして、効率的に砂防設備の機能を維持する除石計画の立案方法を開発する。		

(五十音順)

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 令和6年度採択テーマ 中間評価結果

FS研究:山地河川の特徴を踏まえた施設計画、設計のための数値解析技術の開発

テーマおよび概要		研究代表者名	評価コメント
テーマ	大小砂礫の時空間的な流送・堆積・再移動特性を考慮した広域堆積場を有する砂防施設の施設効果評価手法の開発	国立大学法人鳥取大学学術研究院工学系部門 准教授 和田孝志	本研究は計画通りに順調に進捗している。多岐に渡る内容をどのようにまとめるかという視点を持った上で、広域堆積場を有する砂防施設の効果評価手法の具体的な提案に向け引き続き研究を進められたい。
概要	広域堆積場を有する砂防施設の効果評価に向けて、流砂形態が複雑に変化する場の土砂水理学的知見を合理的に取り入れた数値解析モデルと簡易的効果評価手法の構築を行う。FS研究である今年度は、鳥取県西部大山砂防管内の降雨流出・砂防堰堤堆砂状況を現地で調査するとともに、当該施設の特性として「透過部位置の横断的な偏り」に着目した水路実験を行い、捕捉効果への影響を把握した。また、河床変動(掃流砂・浮遊砂)モデルまたは高橋らの土石流モデルによる平面二次元計算を実施し、その結果の違いを把握した。		